

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	空の鳥幼稚園		
○保護者評価実施期間	2025年2月1日		2025年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4 (回答者数)	4
○従業者評価実施期間	2025年2月1日		2025年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2 (回答者数)	2
○訪問先施設評価実施期間	2025年2月1日		2025年2月28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	3 (回答者数)	1
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さんの状態に応じて、理学療法士や保育士が訪問し、訪問先にとって他の職種からの支援やアドバイスができる。	訪問先にとって、他の職種からの視点が含まれた意見を述べる様にし、新たな視点となるようにしている。時には資料をお渡ししたり、直接支援を実際に見ていただくようにしている。	子ども中心の支援ということを念頭に、訪問先が必要とされるアドバイスや情報をお伝えできるように準備していく。
2	訪問先だけでなく、併行利用されている放課後デイや児童発達支援センターなどと情報共有や見学等を行い、良い関係が結んでいる。	関係機関の支援も含め、子どもにとって同じ方向性を示しているよう情報共有するよう努めている。	定期的に訪問先以外の利用事業所との連携をはかっていく。
3	保護者の思いに寄り添い、丁寧に話を聴く。	訪問後の報告はもちろんだが、定期的に家庭訪問か懇談を持ち、保護者の思いを直接、丁寧に聴くことを意識的に行っている。その中で、支援の現在と、今後の方向性を確認し合っている。	引き続き保護者の思いは丁寧に聴いていく。子どもの思いを大切に支援に繋げていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援の終了のタイミングがみつけにくい。	保護者の不安に寄り添うことは大切になりたいが、支援の終了が定めにくい。	個別支援計画に添って支援をすすめているが、期間の終わりがあがる支援ということをあらかじめ保護者に示す必要がある。
2			
3			

## 公表 保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	空の鳥幼稚園		公表日	2025年 3月 27日		利用児童数	4名		回収数	4名	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応				
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教員教材が整えられていますか。	○2			○1	無回答1 適宜提案していただいています。					
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	○3			○1						
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	○4									
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	○3		○1		(事業自体の頻度や時間が)決められて いるので相談の上とは 言えない。	月2回の制約の下、保護者が気になされて いる場面に訪問できるように心掛けてい ます。				
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員(職種や人数)体制だと思いますか。	○4									
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	○4									
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	○4									
	8 保育所等訪問支援計画(個別支援計画)には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	○2			○2						
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	○4									
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	○3			○1						
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	○3			○1						
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	○4									
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	○4									
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	○1		○2	○1		研修会への案内提供は分かりやすく行っ ていければと思います。				
	15 必要ときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていますか。	○4									
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	○4									
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	○4				親の意図を汲み学校の先生にも適切にお 伝えいただき支援に繋げ ていただいています。					
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	○4									
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	○3									
	20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	○3									
	21 保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	○4									
22 保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	○3										
非 常 時 等 の 対 応	23 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	○1			○3	支援級の(授業の)密度を向上させて頂けると嬉しいです。通常級の一員であることを支援級担任に認識して買うように働きかけ頂けると嬉しいです。	今年度から自己評価結果をホームページで発信して参ります。				
	24 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	○4									
	25 事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	○3			○1						
満 足 度	26 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	○4									
	27 こどもは訪問支援を嫌がっていますか。	○4									
	28 事業所の支援に満足していますか。	○4									

公表

## 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

2025年 3月 27日

空の鳥幼稚園

利用児童数

4 (利用施設3)

回収数 1

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	○1			担任教諭が日頃子どもの関わりの中で悩んでいることなどきくことで助けられた。	
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	○1			子どもの成長しているところを教えてくださったり一緒に喜んでくれたことが良かった。	
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれますか。	○1			資料を見せてくださり、発達段階に応じた体の使い方を教えてくださったので、とても勉強になりました。	
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	○1			日々の保育の中でなかなか解決に向かわなかった課題が、相談させていただいたことで、軽減したり解消でき、とても助けられました。	
5	事業所からの支援に満足していますか。	○1			最初は毎月の訪問が担任の負担になるのではという思いもありましたが、訪問により保護者の方に話をさせていただくことで安心されていたのが何よりも良かったです。	
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
訪問支援でお世話になりありがとうございました。いつも穏やかに話をしてくださり、園児をあたたかい眼差しでみていただいていたので子どもたちがいつもと変わらず園生活を過ごすことができていました。また、日程や時間などもこちらの都合に合わせていただけたので無理なく行うことができました。					ご意見をありがとうございました。訪問先の運営方針は大切に、子どもにとって必要な支援が何か、共に考えていける訪問でありたいと思います。	

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名	空の鳥幼児園		公表日 2025年 3月 27日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・運営・整備	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	○2		施設にある物を工夫して使ったり提案しています。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○2		2名体制が必要な際には配置しています。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○2		施設内で会議の際に適宜行っています。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○2			
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○2		会議や面談時に行っており、改善に繋がっています。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○2		今年度内に児童発達支援センターの外部評価を受けて改善に繋がっています。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○2		定例の会議や全体の会議・法人研修を適宜行っています。	
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○2			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○2		会議で話し合う機会を設けています。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○2		訪問の後、話し合いの時間を設けていただき、施設や担任の先生のご意見を大切に聞き取っています。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○2		訪問の頻度、計画内容と支援の確認を行っています。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○2		園内のアセスメントツールをもとに行っています。フォーマルなアセスメントも必要な際には使用できる様にしています。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○2			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○2			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○2		開始前・終了後に必ず行っています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○2		丁寧に行っています。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○2		施設により大きく異なるので、まずは何う姿勢を大切にしています。	
関係機関や保護者との連携	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋がっているか。	○2		支援後はすぐに記録をする様にしています。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○2		適宜、面談・家庭訪問・電話連絡を小まめにしています。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○2			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○2			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○2			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○2		適宜、外部研修に参加しています。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○2			
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○2			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○2		現在は行っていませんが、子どもに対しての支援に関して適宜、助言や提案は小まめに行っています。	

保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○2			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○2			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○2			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○2			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○2			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○2		必要に応じて提案することは可能です。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○2			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○2		自施設のホームページや、京都市から出ているチラシ等の提示を行っています。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○2			
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○2			
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○2			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○2			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○2			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○2			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○2		本人理解を一番に一番に活かしていることや立場を尊重しながら、本人と施設の困り感を丁寧に聞き取った上で、必要な助言を適切に伝えられるように伝え方の配慮を最大限に考慮しています。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○2		必要に応じて行えるようにすすめています。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○2		必要に応じて行えるようにすすめています。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○2		必要に応じて行えるようにすすめています。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○2			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○2		必要に応じて行えるようにすすめています。	